

20160515 「祈り待ち望む弟子たち」 使徒行伝 1:6～14

目標：ペンテコステの出来事を知り、聖霊の働きかけを期待するようになる。

聖句：「終わりの時には、わたしの霊を全ての人に注ごう。使徒行伝 2：17」

時間：10分

道具：ホワイトボード、ペン、

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：聖霊の働きは隠れたものであり、その意図はイエス・キリストを証詞することにある。だから、関心が聖霊よりもよりイエスに向くように意識しながら本時を進める。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	教会の三つのお祭りを知っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>知っている</li> <li>知らない</li> <li>分からない</li> </ul>	<p>クリスマス、イースター、ペンテコステである。知らなければ、教師側から提示し、内容も問う。昨年も触れているのだが、恐らく正解は出ないと思われる。問うてすぐ次項に次項に進んでよい。</p> <p>これは提示でよい。</p>
課題探究	6分	<p>ペンテコステはどういう理由でお祭りになったのでしょうか。</p> <p>教会が誕生した日（誕生日）なので、祝うようになりました。</p> <p>聖霊が下った処に、イエス様を信じて救われた人々の群れができたのです。</p> <p>それはイエス様が昇天なされてから10日目のことでした。</p> <p>ペテロのメッセージで、結果3000人が救われて、教会が誕生したのです。</p> <p>イエス様が一緒にいたころのペテロさんと比べて、どう変わりましたか。</p> <p>なぜペテロさんは変わったと思いますか。</p> <p>あなたも聖霊が下ったら、イエス様が本当に救い主であると分かります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イエス様を堂々と証詞するようになった。</li> <li>聖霊が下ったから</li> </ul>	<p>「救われた」を特に強調したい。聖霊が無ければ、この奇跡は起こらないのである。</p> <p>ペンテコステの出来事は、聖書に沿ってお話していけばいいだろう。</p> <p>話の骨子は、祈っている中で激しい風のような響きと炎のような別れた舌（新改訳）聖霊に満たされて、他国の言葉で語り出した。疑う人たちに対するペテロの反論</p> <p>反論から証詞へ。「これは聖書の預言の成就である」イメージしにくい出来事なので、イラストなどを用いて理解を助けたい。名画などは、役に立つだろう。</p> <p>弟子たちとはせず、ペテロに集中させて考えさせたい。正解を出させることより、ペテロの変化に目を向けさせたい。</p> <p>この答えは出にくいだろうが、これ以外に理由は考えられないと思われる。必要に応じて教師側から提示する。他にも、宣教の力、救いの確信、慰め、とりなしなど、種々の課題に対する原動力として、聖霊の働きを述べても良い。これらは、185号テキストのテーマからの反映でもある。</p>
まとめ	2分	<p>弟子たちのように聖霊を求めて祈りましょう。</p> <p>「イエス様、私たちに、聖霊様を満たして下さい。」</p> <p>暗誦聖句</p>		<p>神学的には未信者にも聖霊がすでに働きかけているとなるので、言葉に厳密さを意識すると難しい。単純に、先のような祈りでまとめていいと思う。大切なのは、祈り、求め続けることである。</p>